

住みつづけたい 南田中のまち

南田中まちづくりニュース

編集と発行：南田中のまちを考える会 平成27年3月21日 第16号

南田中と、周辺地域の歴史と

本年度メインテーマ

緑のガイドマップづくり

南田中のまちを考える会は、今年度の地域活動として、次の五つのイベントを主催し、開催した。

成年後見制度について

超高齢化社会を迎えて、地域福祉を考える意味で「やさしい成年後見制度」講座を七月十三日南田中図書館でNPO成年後見推進ネットこれから理事長小泉晴子氏を講師に迎えて認知症、障がい者、一人暮らし等と向き合う方々を集めて「もつと身近に、もつと使いやすい話をしていただいた。

地域のみどりと環境講座

また今年度の新たな活動として「南田中地域の歴史と緑のガイドマップづくり」を、年間活動テーマとして実施してきた。

地元の歴史とみどりをよく調べて、「地元のみどりの自然環境をみんなで守ろう！」がテーマである。

まず地域の神社仏閣や南田中の憩いの森や屋敷林などを調べる前に「地域のみ

どりと環境」について講座を八月三十一日開催した。

講師は、一般社団法人練馬みどりの機構理事の佐藤勝彦氏を講師に迎えて勉強会を行った。

南田中のみどりを訪ねて

南田中地域は、他に比べてみどりが残されているがそのみどりを訪ねて十一月三十日「まち歩き」を行った。年度末に「みどりのガイドマップ」を作るためだ。

練馬高齢者住宅最新情報

超高齢化社会を迎えて、シニアは、誰と、どこで楽しく暮らすのか？が今後の大きな課題となっている。高齢者は、いずれ一人



暮らしになる。それに備えて日頃からいろいろ、その暮らし方について学んでおくことが重要である。一月二十五日高齢者住宅の専門家であり、公認会計士で高齢者相談員の（株）えんカウント代表取締役満田将太氏に講演をしていただいた。

第十二回「歴史と文化講座」

毎回好評をいただいている「歴史と文化講座」だが、今年は3・10東京大空襲70



年、3・11東日本大震災4年。家族や地域社会の絆が再び非常に重要視されるようになった。三月一日久しぶりに地元観蔵院の住職小峰彌彦氏にお願いし、「日本文化と曼荼羅美術の世界」について講演をしていただいた。大変盛会だった(下河秀行)

～地域文化の交流点～ 観蔵院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00～16:00
東京都練馬区南田中4-15-24
TEL 3996-6858 FAX 3996-6878
<http://www.k3dion.ne.jp/~kanzoin>



曼荼羅の世界 ～如来・菩薩・明王の役割～

観蔵院 住職

小峰 彌彦

伝えること

自分の意思を誤りなく相手に伝えることは、友好関係を保つ上でとても大切です。それだけに、人はよりよい伝達方法を求め様々な手段を用いてきました。その伝達の根源は、

基本的には言葉によるもの、行動で示すもの、物によるものの三つです。しかしこのような手段を用いて真意を伝えようとしながらも、実際には思うようにならないのが現実です。つまり人間の日常的な方法での伝達には、限界があるのです。

曼荼羅による表現

誤った伝達は極力避け真意を伝えることができなければ、人の心は傷つくのみで癒やされません。

より深い内容を曲解なく伝える手立てとして、様々な角度から長い時間を費やして考案されたものの一つが曼荼羅です。

曼荼羅には、人の伝達のための最も有効な手段である言語が一切用いられず、ただ「色と形」のみで表現されています。色は、青・黄・赤・白・黒の五原色であり、形は如来像・菩薩像・明王像・神像です。そしてその尊像には、それぞれ持ち物や手の形など、役割に応じた姿が描かれています。すなわち色も形も持ち物も、すべて意味を持たせています。曼荼羅を見る人は、これらの尊像の意味を理解することが求められます。たとえば英語を話すためには英単語を知らなければならぬことと同様です。

つまりある程度の約束

事は、共通認識としてどう

しても必要なのです。

如来・菩薩・明王・神とは

ここで曼荼羅を理解する

ための、最も基礎的なことを述べておきます。まずは如来です。如来とは「眞

慧は状況に応じ様々な変

化し展開するので、如来も

一人ではなく複数存在します。

如来は智慧の表現です

からあくまでも理念的な

存在ですが、菩薩は現象世界における働きを意味する存在です。たと

えば医学でいえば、如来は基礎医学的な存在だとすれば、菩薩はこれを応用した臨床的な存在と言えます。つまり具体的

に患者を治療する役割が菩薩なのです。

そして明王や神は、菩薩の手助けをする役割と言えます。病院

でいえば看護婦や看護師にあたる存在といえます。

病院はこういった方々のそれぞれの

献身的な働きで、多くの患者を治療にあたり

ています。

曼荼羅の意図

曼荼羅はこういった全体的な視野から、個々の存在の意義を現しています。個を主張することを否定するのではなく、私たちはまわりの環境の中にあつてそこで生かされていることを忘れてはならないのです。曼荼羅は如来・菩薩・明王・神などの像を組織的に描くことで、仏教の世界の理想的なありかたを示しているのです。個性を尊重しつつ調和をはかる意義を、曼荼羅を通して受け止めて欲しいのです。曼荼羅に表現された真実の世界のありようを、感じ取っていただければ幸いです。日常言語を一切排除したからこそ、私たちは理論を越えた世界と一体となれるのです。

※写真は、観蔵院曼荼羅

美術館より



如の世界から来た」という

意味で、悟った人のこと

でお釈迦さまも如来の一人

です。深い悟りの境地を人

格化したもので、すぐれた

智慧の表現です。悟りの智

慧は状況に応じ様々な変

化し展開するので、如来も

一人ではなく複数存在します。

如来は智慧の表現です

からあくまでも理念的な

存在ですが、菩薩は現象世界における働きを意味する存在です。たと

えば医学でいえば、如来は基礎医学的な存在だとすれば、菩薩はこれを応用した臨床的な存在と言えます。つまり具体的

に患者を治療する役割が菩薩なのです。

そして明王や神は、菩薩の手助けをする役割と言えます。病院

でいえば看護婦や看護師にあたる存在といえます。

病院はこういった方々のそれぞれの

献身的な働きで、多くの患者を治療にあたり

ています。

曼荼羅の意図

曼荼羅はこういった全体的な視野から、個々の存在の意義を現しています。個を主張することを否定するのではなく、私たちはまわりの環境の中にあつてそこで生かされていることを忘れてはならないのです。曼荼羅は如来・菩薩・明王・神などの像を組織的に描くことで、仏教の世界の理想的なありかたを示しているのです。個性を尊重しつつ調和をはかる意義を、曼荼羅を通して受け止めて欲しいのです。曼荼羅に表現された真実の世界のありようを、感じ取っていただければ幸いです。日常言語を一切排除したからこそ、私たちは理論を越えた世界と一体となれるのです。

※写真は、観蔵院曼荼羅

美術館より

美術館より

南田中のまちを考える会 平成26年度活動実績

1. 石神井東小学校社会科授業の学校支援「地域調べ」を行う。
◎とき：5月7日「地域調べ」を、15日校外に出で「まち探検」。
2. 練馬まちづくりセンターの活動助成公開審査会でプレゼン。
◎とき：6月8日(日) ◎ところ：練馬区役所職員研修所。
3. 第10回練馬まちづくり「歴史と文化講座」を開催した。
◎とき：6月29日◎ところ：練馬区立ふるさと文化館。
◎講師：東京大学教授 同大学 史料編纂所長 本郷和人氏
◎テーマ：「軍師官兵衛の夢と野望」について。
4. 地域情報紙「南田中まちづくりニュース」の第14号を平成26年7月10日 4,000部発行した。
5. 「やさしい成年後見制度について」の講座を開催した。
◎とき：7月13日(日) ◎ところ：南田中図書館会議室。
◎講師：成年後見推進ネット これから 理事長小泉晴子氏
◎テーマ：「やさしい成年後見制度について」
6. 「南田中の環境とみどりについて」講座を開催した。
◎とき：8月31日(日) ◎ところ：練馬区立南田中図書館
◎講師：一社法人練馬みどりの機構 理事 佐藤勝彦氏
7. 今年度企画案は「歴史とみどりのガイドマップづくり」
①「みどりと環境講演会」の開催、②神社・仏閣の調査、
③憩いの森の調査、④屋敷林などの調査を開始した。
8. 練馬まちづくりセンター「まちづくり活動 中間発表会」。
◎とき：10月18日 ◎ところ：石神井庁舎5階会議室。
9. 地域情報紙「南田中まちづくりニュース」第15号発行。
平成26年11月1日(土) 4,000部を発行した。
10. 第11回練馬まちづくり「歴史と文化講座」の開催。
◎とき：平成26年11月2日 午後2時～4時。
◎ところ：石神井公園ふるさと文化館多目的会議室。
◎講師：郷土史家 葛城明彦氏
◎テーマ：決戦Parrett II「悲劇の名将太田道灌の生涯」。
11. ガイドマップづくりのため、11月30日「街歩き」を行った。
12. 地域福祉を考える講座「練馬高齢者住宅の最新情報」。
◎とき：平成27年1月25日(日) 午後2時開講した。
◎ところ：練馬区立南田中図書館 2階会議室
◎講師：(株)えんカウント 代表取締役 満田将太氏
高齢者相談員、公認会計士、税理士など。
◎テーマ：「シニアは、誰とどこで、楽しく過ごすか？」
13. 第12回練馬まちづくり「歴史と文化講座」を開催した。
◎とき：平成27年3月1日(日) 午後2時-4時開講。
◎ところ：石神井公園ふるさと文化館 多目的会議室。
◎講師：観蔵院 住職 小峰彌彦氏(元大正大学学長)
◎テーマ：日本文化と曼荼羅美術の世界～PERTⅢ～。
14. 「南田中ニュース」平成27年3月21日第16号を発行した。
15. 3月21日今年度企画提案の歴史とみどりのガイドマップ完成。
16. 練馬まちづくりセンター主催、まちづくり活動助成最終発表会。
◎とき：3月22日(日) ◎ところ：区立区民・産業プラザ。



石神井東小 社会科「地域調べ」



「まちづくり活動提案 公開審査会」



「やさしい成人後見人制度講座」



南田中の「環境とみどりの講座」



第11回「歴史と文化講座」

二月二十八日(土)南田中地域集会所
で、通常総会が行なわれました。

Ⅱ南田中町会年間行事表Ⅱ

- 一月、町会初詣・成田山新勝寺
- 二月、通常総会
- 三月、春の火災予防運動
- 四月、春の交通安全運動
- 五月、春の地域安全運動

- 区内一斉清掃
- 六月、夏の地域安全運動
- 七月、町会主催盆踊り大会

- 十七日(金)・十八日(土)
- 九月、十三日町主催敬老祝賀会
- 秋の交通安全運動

- 十月、さつまいも掘り
- 十一月、秋の火災予防運動
- 七五三お宮参り
- 区内一斉清掃

十二月、消防団歳末特別警戒

大晦日(元日)・稲荷神社初詣の
方々にお神酒、甘酒の接待

★毎週第二水曜は町会「ゴミ回収日」

南田中のまちを考える会行事

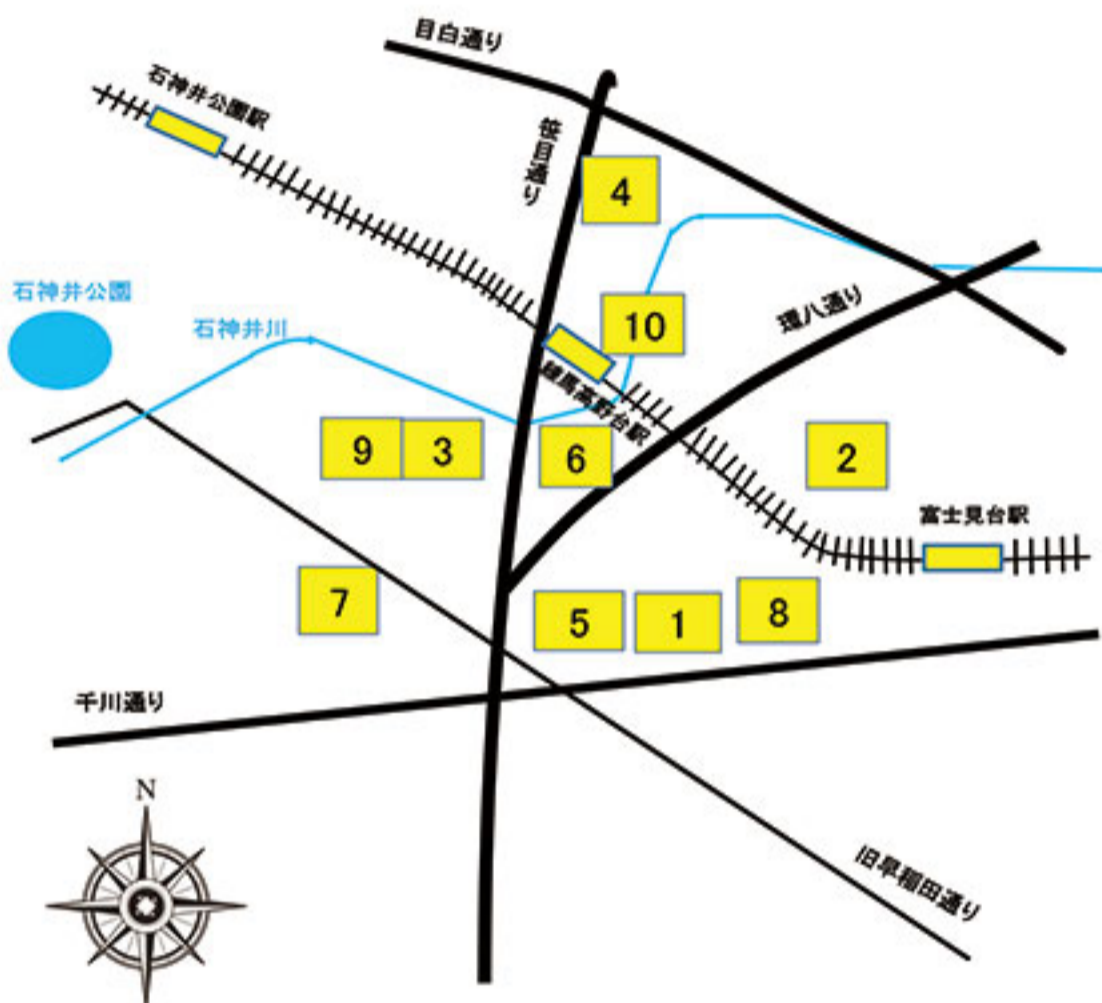
- 住みよいまちづくりを行って
いる考える会の本年度行事は、
- 一、「南田中まちづくりニュース」
を年間三回発行する予定。
- 二、練馬まちづくりセンター
活動企画提案&結果報告会。
- 三、地域の小学校授業支援。
- 四、歴史と文化講座の二回開催。
第十三回十月二十五日(日)
午後二時～四時予定。
- 五、認知症講座の開催予定。

南田中地域は、「一人暮らしでも」安心である。

高齢者の方々が安心して生活できる街づくり

南田中・地域連帯く施設と協力団体の案内

※何ごとも、お気軽にお近くの各施設にご相談ください。



周辺地域連携施設

地域：富士見台、南田中、高野台の周辺にお住まいの高齢者。

1	練馬区石神井高齢者相談センター富士見台支所 練馬区富士見台 1丁目22番4号 ☎ 03-5241-6013
2	練馬区立富士見台地区区民館 練馬区富士見台 3丁目10番1号 ☎ 03-3926-1091
3	練馬区立南田中敬老館 練馬区立南田中5丁目15番25号 ☎ 03-3995-5538
4	練馬区立高野台敬老館 練馬区立高野台 2丁目25番1号 ☎ 03-3996-5135
5	グランド井萩 練馬区南田中 1丁目22番21号 ☎ 03-5923-7280
6	ニチイホーム練馬高野台 練馬区南田中3丁目17番11号 ☎ 03-5923-0071
7	ショップウエルカム 練馬区下石神井 1丁目18番21号 ☎ 03-6913-4918
8	メディカルホームまどか富士見台 練馬区富士見台 1丁目17番22号 ☎ 03-5971-3055
9	練馬区立南田中図書館 練馬区南田中5丁目15番22号 ☎ 03-5393-2411
10	ルネサンス練馬高野台 練馬区高野台1丁目7番17号 ☎ 03-5372-1006

編集後記

平成十二年九月、西武池袋線の「開かずの踏み切り」を解消するために練馬区都市整備部が立ち上げた「石神井公園駅周辺地域まちづくり協議会」が一年半かけて協議し、区長に提案した「石神井地域の全体構想」に基づいて、石神井公園駅周辺地域のまちづくりが行われてきたが、今年三月で連続立体化事業と石神井公園駅前広場の工事が大体完了した。

西武鉄道所有の旧駅舎跡のビル工事が着工したばかりで、これは二年後の完成である。駅前から富士街道までの232号線沿いの再開発ビルは、計画の段階でこれからである。石神井の街もハードの面ではやっと近代化したのが、ソフト面の整備は、これからである。まちづくりは、時間と費用の面で長期戦である。

発行南田中のまちを考える会
まちニュースの発行と編集
代表 下河秀行

会員募集中です！
お問い合わせ先—
TEL 53393-7381

ダイワハウス マンション友の会
プレミストクラブ会員募集

プレミストクラブ

検索

www.dms.jp/premistclub/



大和ハウス工業株式会社 東京本社 マンション事業推進部

東京都千代田区飯田橋3-13-1 〒102-8112

Tel 03-5214-2707 Fax 03-5214-2246

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-22)第5279号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(14)第245号

(公社)東京都宅地建物取引業協会会員 / (一社)不動産経営協会会員 / (公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

www.daiwahouse.co.jp